



**SPIRITO II REFERENCE
PRE AMPLIFIER
OWNER`S MANUAL**

目次

1. はじめに	3
2. 製品の保証について	3
3. 安全上の注意	5
4. SPIRITO IIについて	7
5. 開梱する	8
6. 付属品について	8
7. システムのセットアップとインストール	9
8. フロントパネル	10
9. リアパネル	12
10. SPIRITO IIリファレンスモジュール	13
10.1 SPIRITO IIプロセッサカード	13
10.2 V20リファレンスインプットカード	14
10.3 V30リファレンスアウトプットカード	15
11. メインスクリーンコントロール	16
11.1 ボリューム表示	16
11.2 バランス表示	16
11.3 ボードアイコン	17
11.4 Remote On/Remote Off	17
11.5 ミュート	17
11.6 システムアップデート	17
12. セットアップ	18
13. リファレンスインプットカード V20(入力セレクト)	19
14. リファレンスアウトプットカード V30(出力セレクト)	20
15. SPIRITO II スペック	21

1. はじめに

VIOLA製品をお買い上げいただきまことにありがとうございます。VIOLAは世界の最高水準のオーディオ製品を設計・製作し、常に最高のリスニング環境を提供することに力を注いでおります。VIOLAのシステム同士ではデザインを含め最高のマッチングがとれますが、メーカーを問わず、他のハイエンドの製品とも高い互換性を持つように設計されています。

リファレンスシステムには、リファレンスプリアンプSPIRITO II、リファレンスパワーアンプBRAVO II、高品質のインターコネクトケーブル (BLUES SILVER、SWING COPPER)、およびJAZZスピーカーケーブルがあります。お求めはお近くの販売店、もしくは弊社までお問合せください。

2. 製品の保証について

製品の品質管理につきましては万全の体制を取っており、厳密な検査を経て出荷しておりますが、万一製品上の不備による自然故障が生じましたら弊社の保証規定に基づき、保証期間内であれば、保証書をご提示いただくことにより無償にて修理をさせていただきます。

保証書の発行について

お手数ですが、同梱しております保証登録カードに必要事項をお書きの上ご投函ください。弊社にてご利用者登録を行ない、同時に保証書を発行させていただきます。保証書が発行されていないと、保証期間内であっても有償修理とさせていただきます。大変お手数ですが、保証登録カードのご返送を忘れないようお願いいたします。

尚、保証登録カードのアンケート項目にも、もれなくご記入くださいますよう重ねてお願いいたします。お寄せいただきましたアンケート、ご意見、ご感想は、わたくしどもの貴重な資料として今後の弊社のサービス向上に役立たせていただく所存でございます。

修理、アフターサービスの御用命について

修理、アフターサービスの御用命は、お買い上げいただいた販売店にお申し付けください。

アップロード・メンテナンス・プログラムについて

ご愛用の製品を常に最良の状態でご使用いただくために、製品輸入元による純正製品点検プログラム『アップロード・メンテナンス・プログラム』をご用意しております。

特に現在故障しているというわけではなくとも、長年の使用により、製品の各部に劣化が見られる場合があります。アップロード・メンテナンス・プログラムによる点検・整備により故障を未然に防ぎ、常に最良のコンディションで製品をご愛用いただけます。また、アップロード・メンテナンス・プログラムにて点検・整備された製品につきましては、1年間の製品保証が付属されます。

費用について

アップロード・メンテナンス・プログラムによる点検整備は、有償にて行います。費用は機器のグレードと製造後の年数によって異なります。費用のお見積りは、お買い求めいただいた販売店もしくは輸入元までお問合せください。

対象除外品について

お客様ご自身あるいは第三者など、当社技術部門以外の手による改造品につきましては、初期性能を保証することができませんので、アップロード・メンテナンス・プログラムの対象外とさせていただきます。

製造終了後9年を経過した製品は基本的にアップロード・メンテナンス・プログラムの対象外とさせていただきます。長年ご愛用いただいた製品がアップロード・メンテナンス・プログラムの対象かどうかは、お買い求めいただいた販売店もしくは輸入元にお尋ねください。

点検整備について

アップロード・メンテナンス・プログラムによる点検整備は、実働・機能に関わる部分のみとなります。外觀の整備は含まれません。

アップロード・メンテナンス・プログラムによる点検整備は、対象製品が実働することが前提となります。修理が必要な場合には、修理品扱いとなります(アップロード・メンテナンス・プログラムの点検費ではなく、基本修理費が適用となります)。

アップロード・メンテナンス・プログラムによる点検整備により、消耗部品、劣化部品などの交換が必要な場合には、別途部品代実費をご請求いたします。

お申し込みについて

アップロード・メンテナンス・プログラムによる点検・整備のお申し込みに関しては、お買い求めいただいた販売店をお願いします。

3. 安全上のご注意（必ずお守りください）

警告: 雨の当たる場所や湿気の多い場所に製品を置かないでください。火災や感電の原因となります。

注意: 製品のカバーは取りはずさないでください。感電のおそれがあります。修理や内部の点検は認定ディーラーにご相談ください。



図のマークは製品筐体内部で、絶縁されていない高電圧の部分を示すマークです。感電のおそれがあり、重傷を負う危険があります。



<重要> 操作、メンテナンスに関する説明事項

図のマークは、操作およびメンテナンスに対する重要事項を示すマークです。

備考: “CE”マークは、この製品が欧州共同体のEMC (Electromagnetic Compatibility; 電磁環境両立性) およびLVD (Low Voltage Directive; 低電圧指令) に準拠し、CEマークを取得していることを示しています。

備考: この製品は有害な妨害電波を発生させないような保護を施すように設計するという、FCC規定の条項第15条に準拠したAB級アナログデバイスの条件を満たしています。しかしこの製品でも微弱な電磁波がわずかですが放射されますので、適切な設置および使用を行わないと、電波障害を引き起こす原因となる場合もあります。不適切なご使用において引き起こされた電波障害までをも防ぐことを保証するものではありません。もしこの装置が原因でラジオやテレビの受信に乱れが生じた場合は、電波障害を取り除くために次に掲げるような措置が考えられます。

- 受信アンテナの方向を変える。または設置場所を変える。
- 製品と受信器(受信器)との距離を広げる。
プリアンプを操作する前に、インストールの説明および注意事項をご熟読ください。
- 受信器(受信器)を接続しているコンセントとは別回路のコンセントにアンプを接続してください。

注意:この製品は改善のために予告なく変更を加える場合があります。

注意事項

- 1) ケーブルを抜き差しする場合や製品のお手入れをする場合は、必ず電源を抜いてください。
- 2) 感電のおそれを防ぐため、製品に使用する電源コードは必ずアース付きの3極電源コードを使用するか、アース線を別にお取りになりご使用ください。
- 3) 延長コードのご使用はお避けください。
- 4) 製品のお手入れにあたってはベンジンやシンナーなどの可燃性の溶剤は使用しないでください。
- 5) カバーを取り外した状態で操作を行わないでください。
- 6) 内部は水などの液体で濡れたりしないようにしてください。
- 7) 製品に水などの液体をかけたり、こぼしたりしないでください。
- 8) 換気口やヒートシンクをふさがないでください。
- 9) ヒューズをバイパスしないでください。
- 10) 仕様で定められた以外のヒューズを使用しないでください。
- 11) 製品の分解や修理は行わないでください。何か問題が生じた場合は必ず弊社にご相談ください。
- 12) 極端に高温の場所や低温の場所に製品を置かないでください。
- 13) 電気製品はお子様の手が届かない場所に設置してください。
- 14) 雷が鳴り出したら、電子機器の電源プラグは抜いてください。

4. SPIRITO IIについて

SPIRITO IIは、モジュール設計を採用したオープンアーキテクチャのプリアンプで、優れたカスタマイズ性、アップグレード性、拡張性を備えています。

このアンプは電源部とアンプ部からなるセパレート型のプリアンプで、アンプ部に10個のカードスロットを装着しており、自由にシステム構成を行うことができます。また独立回路と完全バランス出力機能を備えています。ベーシックモデルはインプットカードV20およびアウトプットカードV30を各一基装着しており、将来はPHONO、DAC、EQ各ステージへの対応も予定しています。

本機に使われている電源トランスとチョークインプット回路による電源部は、通常使われるコンデンサーインプットシステムと比較すると、電源ON・OFF時のショックを低減し、リップル電流を事実上除去しています。また、電源部の変調歪みを押さえ、EMIの影響も格段に小さくなります。さらにコンデンサーの寿命は特に長くなりますので、アンプの寿命を大幅に延ばすことができます。PF値は0.96(PFの理想値は1)と、チョーク入力型の電源の標準値である0.9よりも高い値となります。

より長い時間連続したパワーを供給できるよう、電源部はスイッチング電源ではなく大型電源トランスを使用しています。

最も要求の厳しい音楽にも見られるデューティーサイクルを与えると、大型電源トランスによる電源のパワーレートを示す連続的なサイン波は、スイッチング電源に比べて約3倍となります。SPIRITO IIに採用されている大型電源トランス採用の電源部には、高周波スイッチは使用しておりませんので、高周波ノイズは発生しません。周囲の温度に左右されるスイッチング電源とは異なり、信頼性は非常に高いものとなります。

5. 開梱する

注意:怪我をしたり、製品を損傷する恐れがありますので、お一人でプリアンプの梱包を解くことは、おやめください。必ず以下の手順に従って梱包を解いてください。

SPIRITO IIは非常に重量があり、輸送時の重量は約55kgにもなります。安全のために必ずお二人で梱包をといてください。

- ・箱から注意して、ゆっくりとプリアンプを引き上げます。この時はお一人で作業してください。
- ・腰をかがめたままでの姿勢でプリアンプを持ち上げることはしないでください。
- ・できるだけまっすぐの姿勢を保ち、プリアンプおよび付属品を取り出してください。

プリアンプを取り出した後の梱包材は、すべて保存しておいてください。何かの理由で製品を輸送する必要がある場合、安全のために、オリジナルの梱包材を使用する必要があります。他の梱包材を使用した場合、製品に損傷が加わる恐れがあり、またこうした場合の損傷は製品保証の対象外となります。

備考:製品が送られてきましたら、輸送時の損傷がないかどうか確認してください。何かありましたら、ただちに弊社までご連絡ください。

6. 付属品について

お買い上げいただいたSPIRITO IIの Kartonの中には、つぎのものが入っています。最初にご確認ください。

1. SPIRITO IIアンプ部
2. SPIRITO II電源部
3. タッチパネル式リモコンセット
4. 電源ケーブル
5. DCケーブル
6. OWNER'S MANUAL(本書)
7. 保証登録カード

梱包材は、SPIRITO IIを輸送する際に必要です。大切に保管しておかれることをお勧めいたします。

付属の電源ケーブルは、他の機器に使用しないで下さい。

7. システムのセットアップとインストール

プリアンプのならし運転

このプリアンプは素晴らしい性能を備えていますが、アンプ本来の性能を引き出すために、ならし運転の時間を必要とします。最初に電源を投入してから約25時間～50時間で音は大きく向上します。そしてさらに約300時間をかけて、さらに音は良くなり続けていき、その後製品の音質が安定します。

製品の電源が抜かれクールダウンした場合、例えば留守中に製品の電源コンセントを抜いておいた場合や、スタンバイモードではなくスリープモードで放置しておいた場合などは、プリアンプの音質がベストのものとなるまで多少のウォームアップ時間を必要とします。

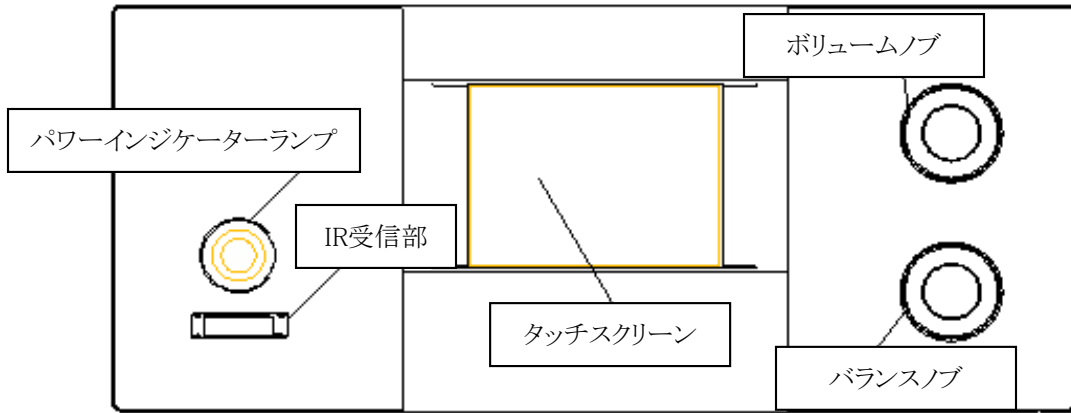
設置場所について

重要！：プリアンプ設置する前に、再度「重要:安全上のご注意」をお読みください。

SPIRITO IIは、しっかりした台またはラックの上に設置します。本機は使用中熱を発生しますので、換気のよい場所に設置するようにしてください。

ケーブルが極端にひっぱられたり縮んだりしないよう、ゆとりを持たせた配線を行うため、電源ケーブルと接続ケーブルはSPIRITO IIの背面にある程度の長さ(少なくとも15cm以上)を残すようにしてください。

8. フロントパネル



図：SPIRITO II フロントパネル

パワーインジケータランプ

- ・ SPIRITO II本体と電源部を付属のDCケーブルで接続し、電源部の電源ソケットの横にある主電源のスイッチをONにします。パワーボタンの周囲の輪はプリアンプの動作状況を示すLEDランプです。プリアンプの主電源がOffの場合、LEDは完全に消えています。

備考:もしプリアンプの電源が入らない場合、電源の接続およびヒューズを確認してください。

- ・ SPIRITO II本体と電源部の両方のLEDが緑色の時は電源が入っており使用できる状態です。
- ・ SPIRITO II本体のLEDが黄色の時はプリアンプはスタンバイ状態です。ディスプレイのバックライトは消えており、出力はミュートになっています。
- ・ SPIRITO II電源部のLEDが赤色の時は、AC電源の電圧が高いか、温度が上がりすぎた状態です。直ちに電源を切り、お買い求めになった販売店、もしくは弊社までご連絡ください。

IR受信部（赤外線通信ポート）

- ・ リモコンの受光部です。

タッチスクリーン

- ・ SPIRITO IIではタッチスクリーンによりさまざまな機能を実現します。指や先の細いものでディスプレイに触れることにより、SPIRITO IIを操作することができます。

ボリュームノブ

- ・ SPIRITO IIでは操作モードに応じて、いくつかのファンクションを利用してボリュームノブをコントロールします。メインボリュームに対してチャンネルボリュームのオフセットを設定したり、ボードとチャンネルの名前を設定したりします。

バランスノブ

- ・ V30のアウトプットスクリーンメニューで設定すると、バランスコントロールノブが有効になります。ボリュームを上げることなく、音のイメージを右または左へシフトすることができます。また、操作モードに応じて、ボードやチャンネルの名前を変えたい場合は、カーソル移動としても使用します。

9. リアパネル

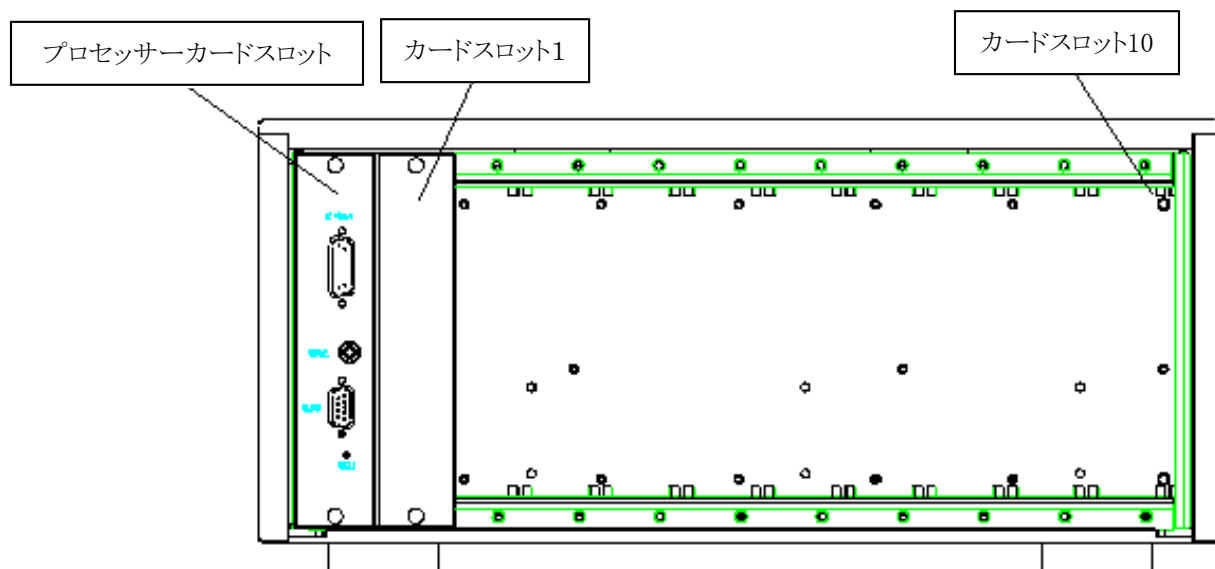


図: SPIRITO II リアパネル

プロセッサーカードスロット

- 一番左端のカードベイはSPIRITO IIプロセッサーカード用です。プロセッサーカードだけが挿入できます。このカードスロットにプロセッサーカード以外のカードを挿入しないでください。リアパネルの接続部に損傷を与える恐れがあります。

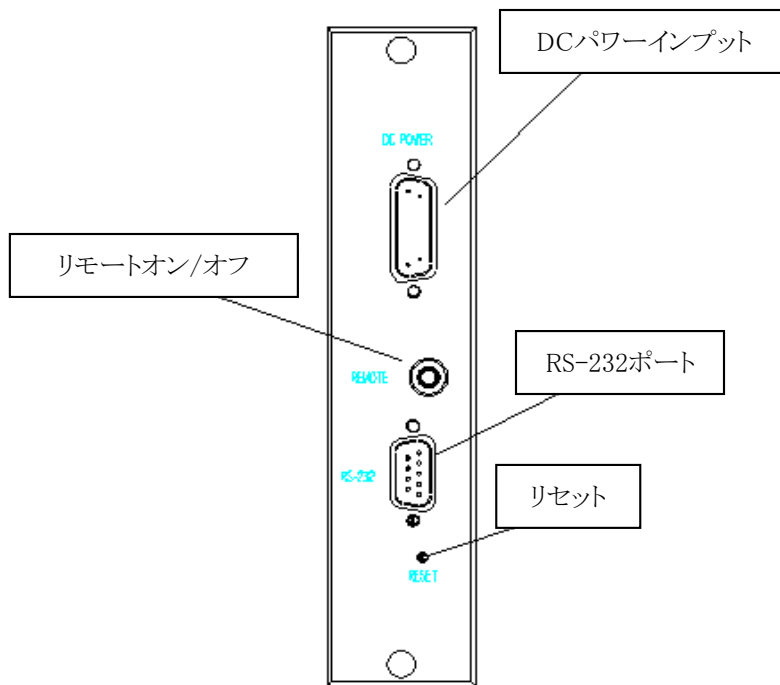
カードスロット 1-10

- SPIRITO IIにはシングルカード10枚またはデュアルカード5枚のカードが挿入できるスロットを備えています。図は、カードスロット1は空きの状態を示しています。このカードスロットにプロセッサーカードを挿入しないでください。リアパネルの接続部に損傷を与える恐れがあります。

10. SPIRITO IIリファレンスモジュール

10.1 SPIRITO IIプロセッサカード

- ・DCパワー入力:すべてのモジュールに対して電源を供給します。
- ・リモートオン/オフ: BRAVO IIまたはLEGACYと接続することにより、リモートで電源のON/OFFを操作することができます。
- ・RS-232ポート: 弊社のサービスマン以外、使用しません。
- ・リセット: 弊社のサービスマン以外、使用しません。



図：プロセッサカード

10. 2 V20 リファレンス入力カード

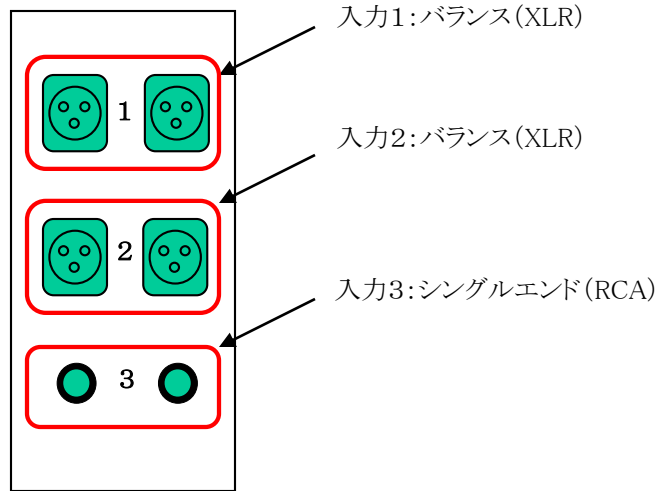



図: V20 リファレンス入力カード

- SPIRITO IIは、V20 リファレンス入力カードを搭載している場合、バランス入力 (XLR) 2 系統、シングルエンド入力 (RCA) 1 系統を備えています。SPIRITO IIとソース機器を、高品質のインターコネクトケーブルで接続します。
- SPIRITO IIのXLR端子のピン配置は以下のようになっています。

	
ピン1	グランド信号
ピン2	+信号
ピン3	-信号
コネクタのグランドラグ/シャーシ接続	シャーシグランド

- ピン配置は、AES(Audio Engineering Society)の規格に準拠しています。接続するソース機器の取扱説明書を参照し、SPIRITO IIの入力カードとソースの出力端子のピン配置が対応しているかどうかを確認ください。対応していない場合、対応する出力ピンと入力ピンをケーブルで変換して接続します。

10.3 V30 リファレンスアウトプットカード

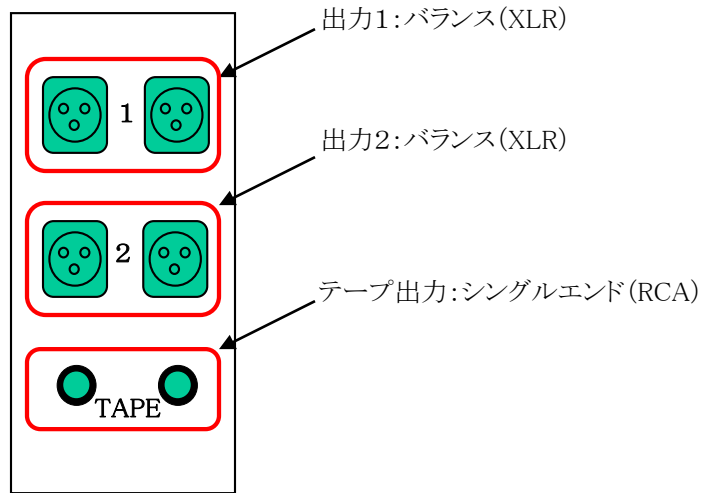


図: V30 リファレンスアウトプットカード

- SPIRITO IIは、V30 リファレンスアウトプットカードを搭載している場合、バランス出力(XLR)2系統、テープアウト(RCA)1系統を備えています。SPIRITO IIとパワーアンプを、高品質のインターコネクトで接続します。
- テープ出力端子はフルボリュームで出力されますので、通常のパワーアンプには絶対に接続しないでください。不用意に接続すると、スピーカーを破損する可能性があります。

11. メインスクリーンコントロール



図:メインスクリーン

11.1 ボリューム表示

・ボリュームをデシベル表示します。フロントパネルのボリュームノブでボリュームを調節します。

11.2 バランス表示

・左右チャンネルのバランス差をデシベル表示します。フロントパネルのバランスノブで左右チャンネルのバランスを調節します。

11.3 ボードアイコン

- ボードアイコンで、アクティブになっている入出力ボードの位置を表示します。V20 リファレンスインプットカード、V30 リファレンスアウトプットカードを搭載している標準の状態では、前頁の図のように表示されます。ボードアイコンを選択すると、そのモジュールのメニューが表示されます。

11.4 Remote On / Remote Off

このメニューはパワーアンプにVIOLA BRAVO IIまたはLEGACYをご使用になり、SPIRITO IIとBRAVO IIまたはLEGACYの間にコミュニケーションケーブルを接続した時のみ有効となります。

- このボックスは最初は**Remote On**になっています。ボックスを選択すると**Remote On**から**Remote Off**に切り替わります。
- **Remote On**が選択されると、リモートコネクタに12VのDC電流が流れ、パワーアンプがONになります。
- **Remote Off**が選択されると、リモートコネクタは0Vになり、パワーアンプがOFFになります。

11.5 ミュート

ミュート切換スイッチです。

- このボックスは最初はミュート解除の状態になっています(図8参照)。ボックスを選択すると斜線が入り、ミュート状態になります。
- ミュート状態にすると、利用可能なアウトプットボードのボリュームはすべてミュート状態となります。
- ミュート解除にすると、利用可能なアウトプットボードのボリュームはすべてミュート状態が解除されます。

11.6 システムアップデート

- **Update**でアップデートを行うことができますが、このメニューはお客様が操作する必要はありません。弊社のサービスマンのみが操作するメニューです。

12. セットアップ

- ・ メインスクリーンの**Setup**を選択するとセットアップメニューが表示されます。
- ・ **Contrast**でディスプレイのコントラストを調整します。
- ・ **Backlight**でディスプレイのバックライトの輝度を調整します。
- ・ **Calibrate Touchscreen**でスクリーンのキャリブレーションを行うことができます。ただし、スクリーンのキャリブレーションは工場出荷時に設定されており、調整する必要はありません。スクリーンをタッチした時に、タッチした位置とアイコンの位置がずれていると感じたときにキャリブレーションを行ってください。
- ・ **Backlight Off**でディスプレイを消灯することができます。フロントパネルまたはリモコン操作、ディスプレイをタッチするとディスプレイが再度点灯します。
- ・ バックライトオフタイマーを選択すると、押してから30秒でディスプレイが消灯します。
- ・ **リターン**を押すと、メインスクリーンに戻ります。

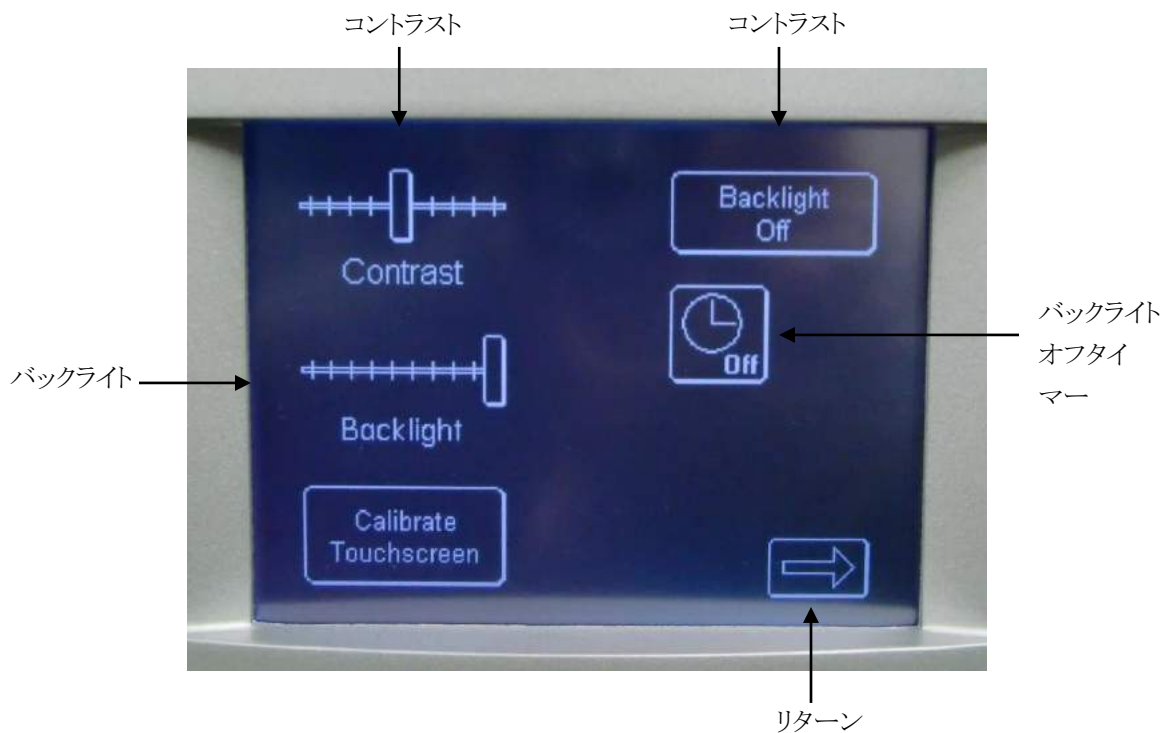


図:セットアップメニュー画面

13. リファレンスインプットカード V20(入力セレクト)

- ・ **インプットセクター**:それぞれの入力表示左をタッチすることで、入力を切り替えます。上図では入力1(XLR)が有効となっています。この状態が電源を投入した直後のデフォルト状態です。
- ・ **SSPセクター**:チェックボックスをタッチすることで、各入力をSSP入力に設定することができます。ただし、V20インプットカードとV30アウトプットカードの両方のSSPをオンにしなければ有効になりません。SSP入力に設定すると、SPIRITO IIのボリューム回路をパスしますので、ホームシアターシステムの中にSPIRITO IIを組み込んでも非常にシンプルに操作することができます。
- ・ **SSPモードを選択する時は、組み合わせるサラウンドプロセッサのボリュームが最小になっていることを確認してから操作してください。大音量が出てスピーカーを破損する恐れがあります。**
- ・ **ルーティング**:インプットモジュール V20と関連付けをするアウトプットモジュールを選択します。インプットモジュールV20一つに対してリファレンスアウトプットモジュールV30を最大4つまで関連付けすることができます。信号は複数の出力モジュールに対してパラレルに出力されます。
- ・ **リターン**を押すと、メインスクリーンに戻ります。
- ・ **名称表示**:入力の名前をタッチすることで、名称を変更することができます。使用しているソース機器の名前などを付けると便利です。

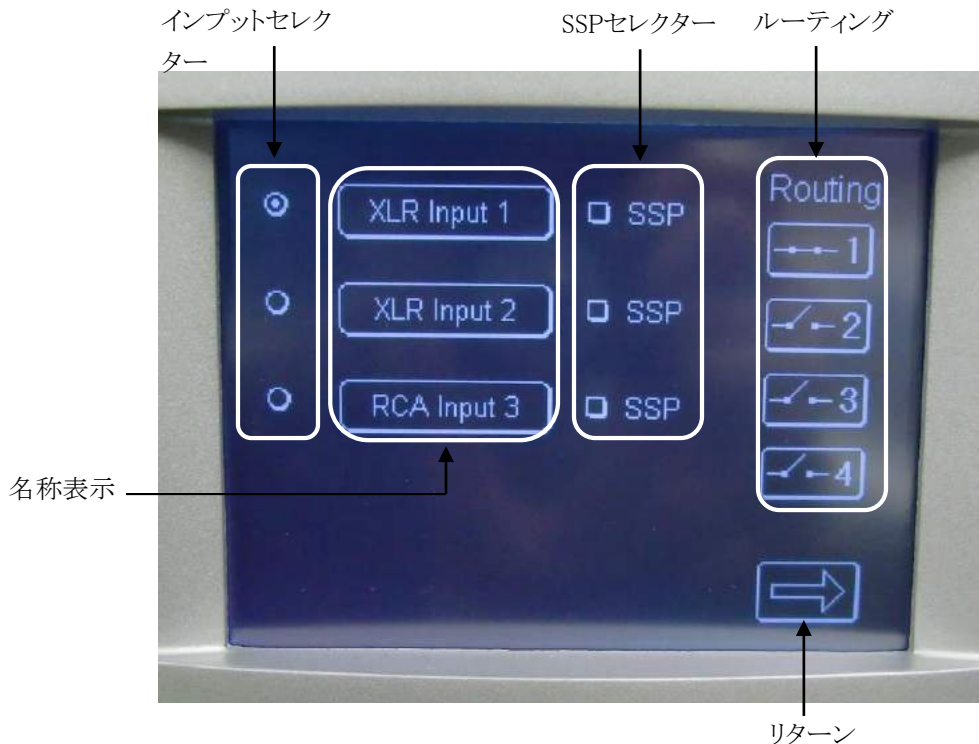


図:V20 メイン画面

14. リファレンスアウトプットカード V30(出力セレクト)

- ・ **テープオン/オフ**:テープ出力の信号をON、OFFします。テープの出力は固定ですので、ボリュームコントロールとバランスコントロールはテープの出力信号に対して何の作用も及ぼしません。
- ・ **バランスオン/オフ**:バランスコントロールを有効にするか無効にするかを選択します。この機能は主に、マルチチャンネルでお使いのときに便利です。
- ・ **SSPオン/オフ**: SSPモードを選択すると、SPIRITO IIのボリューム回路をパススルーしますので、ホームシアターシステムの中にSPIRITO IIを組み込んでも非常にシンプルに操作することができます。ただし、V20インプットカードとV30アウトプットカードの両方のSSPをオンにしなければ有効になりません。
- ・ **ルーティング**: V30アウトプットモジュールと関連付けをするインプットモジュールを選択します。インプットモジュールはひとつのみ選択することができます。
- ・ **ミュート**: 左右チャンネル独立して、ミュートを行うことができます。ミュートを解除するには再度タッチしてください。
- ・ **名称表示**: 出力の名前にタッチすることで、名称を変更することができます。
- ・ **リターン**を押すと、メインスクリーンに戻ります。



図:V30 メイン画面

14. SPIRITO II スペック

@V20 Reference Input Module

Inputs	Input 1	Balanced XLR.
	Input 2	Balanced XLR in parallel.
	Input 3	Single Ended RCA.
Input Impedance		1 Meg Ohm
Voltage Gain		Unity
Frequency Response	+/-0.2dB	20Hz-20kHz
S/N		-85dBv
THD@ 20kHz		<0.002%
IMD@ 60Hz-7kHz 4:1		<0.003%

@V30 Reference Output Module

Outputs	Output 1	Balanced XLR.
	Output 2	Balanced XLR.
	Output 3	Tape Out Single Ended RCA.
Output Impedance		100 Ohms Main 620 Ohms Fixed
Maximum Voltage Gain		+16dB
Frequency Response	+/-0.2dB	20Hz-20kHz
S/N		-85dBv
THD@ 20kHz		<0.002%
IMD@ 60Hz-7kHz 4:1		<0.003%

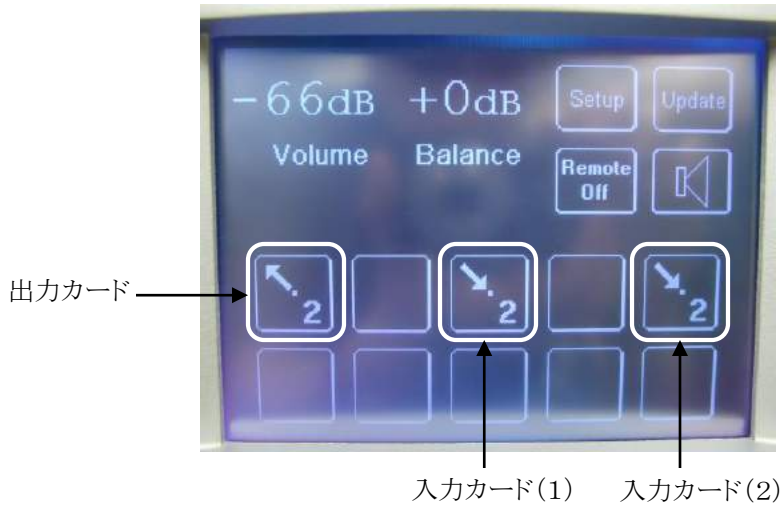
@Spirito Mainframe and Power Supply

10 card slot bays and 1 processor bay.
320 × 240LCD display with touch screen.
Motorola HC12 Processor with 128k flash memory.
1 RS232 Port.
1 bidirectional IR port.
Remote Control Device Palm M100 M105 M505

最大外形寸法	Preamplifier	447(W) 215(H) 525(D)mm
	Supply	447(W) 110(H) 510(D)mm
質量	Preamplifier	21.5kg
	Supply	23.5kg

入出力の切り替え

メインスクリーンには、挿入されている入力カード(1)と(2)、出力カードのアイコンが表示されます。



入力カード(1)と(2)を切り替えるときは、出力カードのアイコンをタッチして出力メニューに入ります。使用する入力カードにより、右上のRouting(ルーティング)を切り替えてください。

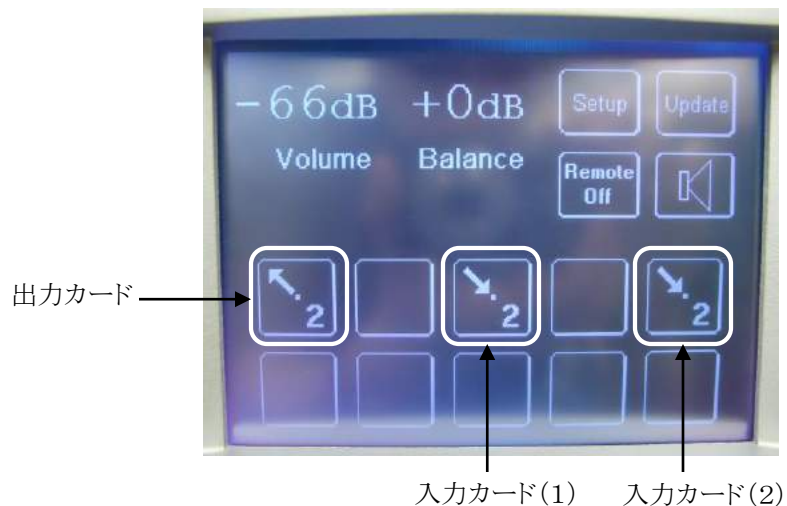


入力カード(1)に接続している機器に切り替えるとき



入力カード(2)に接続している機器に切り替えるとき

入出力の切り替え



入力切替を行うときは、設定したい入力カードのアイコンをタッチし、各入力カードの設定メニューにはいります。



入力カード(1)に接続している機器に切り替えるとき



入力カード(2)に接続している機器に切り替えるとき

14. リファレンスアウトプットカード V30(出力セレクト)

- ・ **テープオン/オフ**:テープ出力の信号をON、OFFします。テープの出力は固定ですので、ボリュームコントロールとバランスコントロールはテープの出力信号に対して何の作用も及ぼしません。
- ・ **バランスオン/オフ**:バランスコントロールを有効にするか無効にするかを選択します。この機能は主に、マルチチャンネルでお使いのときに便利です。
- ・ **SSPオン/オフ**: SSPモードを選択すると、SPIRITO IIのボリューム回路をパススルーしますので、ホームシアターシステムの中にSPIRITO IIを組み込んでも非常にシンプルに操作することができます。ただし、V20インプットカードとV30アウトプットカードの両方のSSPをオンにしなければ有効になりません。
- ・ **ルーティング**: V30アウトプットモジュールと関連付けをするインプットモジュールを選択します。インプットモジュールはひとつのみ選択することができます。
- ・ **ミュート**: 左右チャンネル独立して、ミュートを行うことができます。ミュートを解除するには再度タッチしてください。
- ・ **名称表示**: 出力の名前にタッチすることで、名称を変更することができます。
- ・ **リターン**を押すと、メインスクリーンに戻ります。

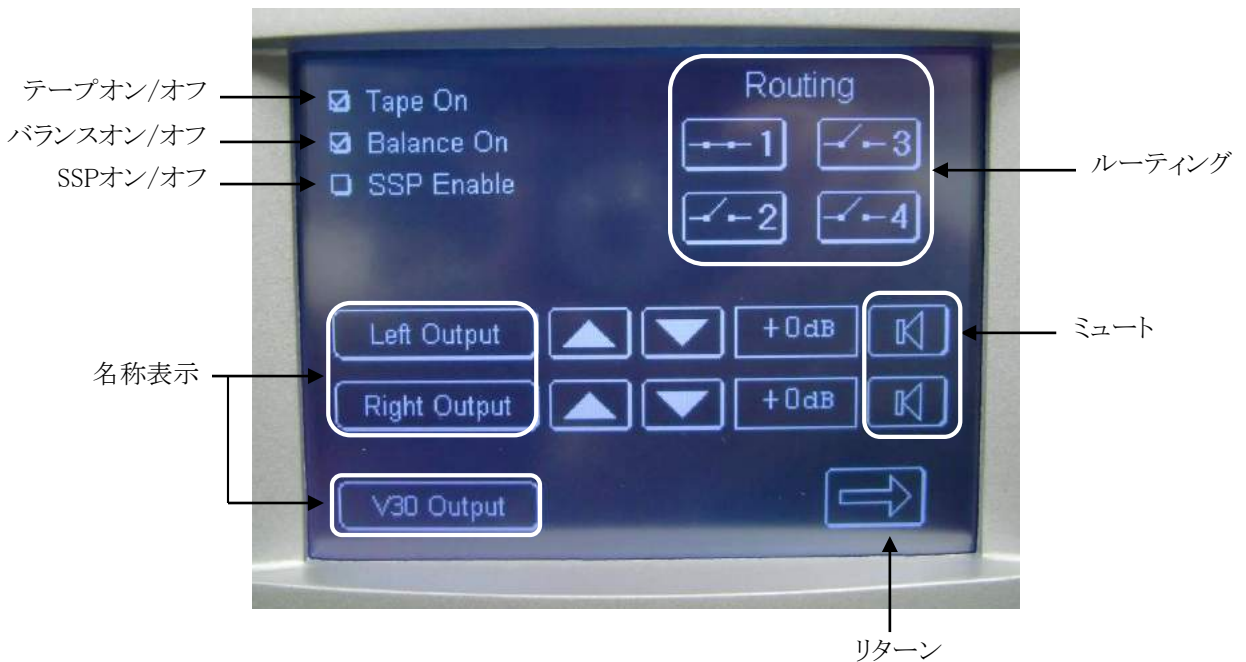


図:V30 メイン画面